

**イコール・ペイ・デイ**は、  
賃金格差を「見える化」する運動です。

男女ともに働き始め、男性が1年で手にする額を女性が1年を超えて働いて手にする日 = それがいコール・ペイ・デイです。

2021年のイコール・ペイ・デイ (EPD) は **5月6日**

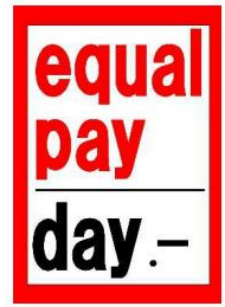
2020年の男女の賃金格差は 74.4%

女性は 4か月と6日余計に働かないと同額を手にすることができないのです。

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」より

主要国の EPD

<b>日本</b>	<b>5月6日</b>		
アメリカ	3月24日	スイス	3月16日
イギリス	4月1日	ドイツ	4月7日
イタリア	1月22日	フランス	3月8日



あなたに  
知ってほしい  
**イコール・ペイ・デイ**

それは・・・

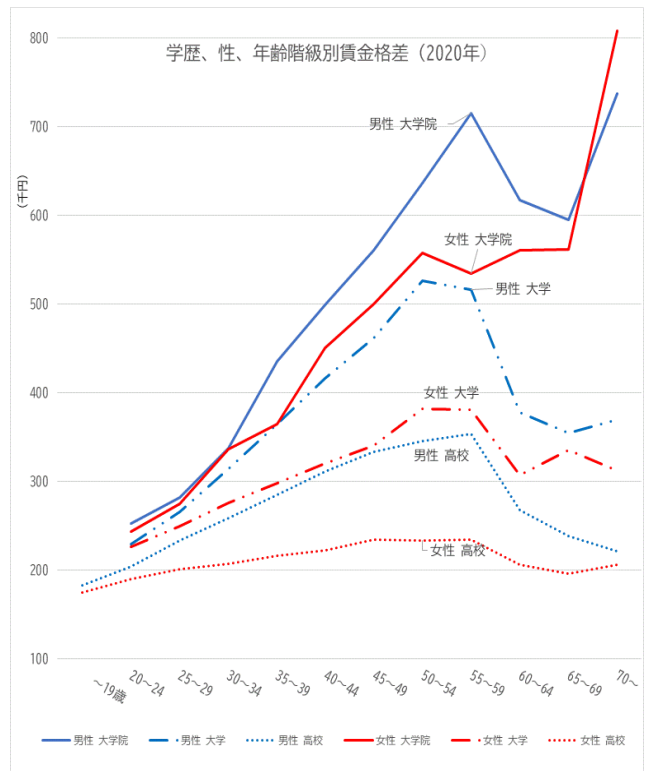


**ご存じでしたか？・・・賃金の男女格差の姿です**  
格差は学歴・年齢でさらに拡大します。  
大卒女子と高卒男子の差は僅か。。



イラスト:mine 工房 落合みね子  
協賛 :JWLI Association

認定 NPO 法人日本BPW連合会  
東京都渋谷区代々木 2-21-11 婦選会館 303  
TEL:03-5304-7874 FAX:03-5304-7876  
Email [office@bpw-japan.jp](mailto:office@bpw-japan.jp)  
<http://www.bpw-japan.jp/>



# equal pay day.

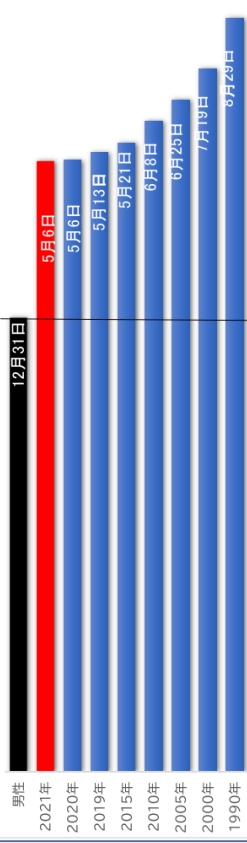


認定NPO法人日本BPW連合会

## 2021年 イコール・ペイ・デイ (EPD) 5月6日

男性が1年間で得る賃金を、女性は1年を超えて働いてようやく同額となる日がイコール・ペイ・デイ (=同じ賃金を手にする日) です

### EPD推移



### 性別別賃金の推移(令和2年(2020)賃金構造基本統計調査(全国)雇員の概況より)とイコール・ペイ・デイ

EPD	調査年(前年)	男女計		賃金格差(%)		格差分の日数C (男性の年収/女性の年収-365日)
		賃金(千円)	賃金B(千円)	賃金A(千円)	賃金B(千円)	
男性	12月31日					0
2021年	5月6日	307.7	251.9	338.8	251.9	74.35
2020年	5月6日*	307.7	251.0	338.0	251.0	74.26
2019年	5月13日	306.2	247.5	337.6	247.5	73.31
2018年	5月21日	299.6	238.0	329.6	238.0	72.21
2017年	6月8日	294.5	228.0	326.8	228.0	69.77
2016年	6月25日	301.6	225.6	333.9	225.6	67.57
2015年	7月19日*	300.6	217.5	336.7	217.5	64.60
2014年	8月29日	241.8	166.3	276.1	166.3	60.23

厚生労働省「賃金構造基本統計調査」の「所定内給与額の推移」から、一般労働者(非労働者のうち短時間労働者を除いたもの)のデータを使用。

### 【Newイコール・ペイ・デイ算出方法】

- 格差分の日数を算出  
男性の年収を得るのに女性の賃金では1年を超えて何日かかるか計算  
男性の年収(賃金A × 12カ月) ÷ 女性の年収(賃金B × 12/365) - 365日 = 1年を超えた格差分の日数C
- 暦日付を算出  
格差分の日数から暦日を算出、小数点以下は切上 (\* 閏年は2月を29日計算)  
格差分の日数C - 1月(31日) - 2月(28日) - 3月(31日) - 4月(30日) - ...

### 【計算方式変更】

2018年まで、男女の賃金格差の比率から算出していましたが、それでは男性賃金がベースになるため、2019年から賃金の差額を得るために実際に女性が何日余分に働く必要があるか、女性の賃金の日割りでの割り出す方式に変更。

例：男性年収400万円、女性年収300万円の場合、25%の格差と100万円の差  
従来方式：1年の25% (1/4) 働く必要がある、つまり3月末  
新方式：年収300万の女性が不足の100万円を稼ぐには、1年の1/3働く必要がある、つまり4月末  
資料：令和2年賃金構造基本統計調査(全国)結果の概況  
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/itiran/roudou/roudou/chingin/kouzou/z2020/dl/13.pdf>

